一般社団法人日本スクエアダンス協会東北統括支部
東北統括支部ニュース
http://jsda-tohoku.miz.jp/

発行人 水間清蔵
発行所 一般社団法人
日本スクエアダンス協会
東北統括支部
2019年 月 日発行
通巻 第145号

新元号「令和」とスクエアダンス

東北統括支部　副支部長　盛岡キャラメイツSDC　佐々木　傳

時代の節目である平成最後の４月に東北統括支部定例幹事総会が開催された。支部傘下クラブから幹事が出席し、主な事業の報告と新たな事業計画について審議した。残念なことに１クラブがＳ協を退会され37クラブとなった。

例年、支部の事業は①ＳＤ講習会②ＲＤ講習会③東北ジャンボリーの三大事業である。これら事業は参加の機会を考慮して、主管をローテーションしている。

Ｓ協より体験会や初心者講習会の開催や報告を求められているが、年々高齢化の影響か開催しても参加者が少ないのが現実で残念である。

しかし、４月に開催した辻田講師による「普及サポーター育成講座」では全国の中で最も東北での講座の参加者が多かったと好評された。

さて、５月から新年号「令和」の時代になり、東北統括支部の新事業がスタートした。

新元号の「令和」は、何かしら親しみに湧き、響きがよく思える。万葉集からの出典と云われるが、私はスクエアダンス界からの出典のように思われる。「令」は命令とか指令・指示であり、コマンド・コールである。「和」は平和であり、ダンスの輪である。と私は勝手に解釈している。

ＳＤはウォーキングダンスと云われる程に運動不足解消となる。戦後に紹介導入され昭和・平成そして令和へと三時代、節目を迎える。

今年の支部総会を機に、新しい元号「令和」と同様、みんなにＳＤを親しませ「令和のダンスはＳＤ」と云われる様に大いに発展させたい。

「体験プログラム」や「コミュニティ 25」「普及育成サポーター育成」など、資料は揃った。あとは実行あるのみである。これはクラブ代表者だけでなく、会員みんなが協力し合い、口コミなどで一人でも多くの方々に体験会、初心者講習会に参加を呼びかけることが最も大切である。

そして、そのことがＳＤ発展となり、やがては自身に跳ね返って来る。令和の時代は高齢化社会でもあるが、健康維持の為にもＳＤの輪を拡大させ、みんなでいつまでもＳＤを楽しみましょう。

2019年度　定例幹事総会が開催されました

2019年４月14日（日）仙台市黒松市民センターにおいて、東北統括支部定例幹事総会が開催されました。冒頭、水間統括支部長から、全国的に会員数が減少傾向になり、高齢化時代に伴いどう対処すべきか検討し、Ｓ協のサポートを受けながら事業を進めなければならない。１つとして子供たちを取り込む、２つとして中高年層の若手をいかに取り込んでいけるか、３つとして会員を増やし現状維持が出来るかであり、体験会初心者講習会を実施し、普及活動を強力に進めていくとの挨拶がありました。幹事数46名に対し出席者32名、委任状12名の計44名で、過半数を確認、総会が成立しました。早速議長に佐々木傳副支部長、書記に後藤光正氏が選出され、議事録署名人には佐々木議長・佐藤英俊氏と伊豆田哲弥氏の両監査が選出されました。議事に入り2018年度事業報告・決算報告・監査報告があり、各事業の案内状の送付先はＳ協東北支部幹事に送付することに統一され、各報告については承認されました。事業計画については水間支部長から体験会と初心者講習会の実施回数についての記載方法の説明の後、スマイリーＣＯＷSDCの退会と４月９日現在の統括支部内の会員数がフリー会員を加え803名であり、中期計画で３％増の863名への目標に向かって頑張っていくと話がありました。その後、普及サポート育成講座が盛岡市内で、第54回ＳＤ講習会が盛岡市内で、第40回ＲＤ講習会が仙台市内でそれぞれ開催し、11月初旬に東北ＳＤジャンボリーが仙台市内で開催されることが各担当より説明されました。そして、2019年度予算、事業ローテーション、ブロック分け、支部備品について説明があり、それぞれについて承認され、東北統括支部定例幹事総会が終了しました。

挨拶をする佐々木傳議長

説明する水間支部長

説明を聞き入る幹事

発言する高橋幹事

発言する小田内幹事

監査報告をする佐藤監査

第54回東北スクエアダンス講習会が盛岡で開催されました

令和元年６月15日（土）～６月16日（日）盛岡市内「アイーナ」を会場に第54回東北スクエアダンス講習会が開催されました。コーラーコース（Ａ１）は講師に盛岡スクエアダンスクラブの澤藤　敏夫氏、ダンサーコース（Ｂ）は盛岡キャラメイツスクエアダンスクラブの佐々木　傳氏が担当し、コーラーコースは９名が参加、ダンサーコースは２日間参加者が21名、今回も急遽１日参加も設定して合計39名のダンサーが参加し、盛会裏に終了しました。岩手県の両講師お疲れ様でした。

第54回東北SD講習会（Ａ１）コースを受講して

亘理ストロベリーZ（ズ）　鈴木　亜紀子

「皆さんはダンスを始めるときの挨拶をどう行ってますか？バウ　トウ　ユアパートナーの後続けてすぐバウ　トウ　ユア　コーナーと言ってませんか？バウ
トウ　ユア　パートナーの後２呼吸空けてバウ　トウ　ユア　コーナーと言ってみてください。しっかり、顔を見てニッコリ笑って目を見て挨拶できるでしょう？」

自らのコールを振り返った時に自分はどちらだったか咄嗟に判断出来ませんでした。でも、言われてみれば成程、後者の方がしっかりと挨拶し会える。時々コールの途中で「誰がパートナーだったか覚えてますか？挨拶の時にパートナーとコーナーを覚えましょうね」と声を掛けた事がありました。と言うことはやはり私のコールは間を取ってじっくり挨拶させていなかったのでは？と今回は改めて考えさせられました。また、自学習の仕方としてこんな方法があると言うことで、講習会では試しに皆で一緒に１単語につき２拍で発音２呼間数え、次の単語を発音する（この単語は４呼間、８呼間数えるように）と指導を受け実践練習を行いました。コールの準備練習として、「耳で聞く→目で見る→口で発する」それには、目標とするコーラーの実際のコール何度も聞き、トレースすると良いという事もご教授頂きました。更に「コールを組み立てる時のノート（Ａ４版）の書き方どうしていますか？自分はブレーク、ゲットイン、ボデー、ゲットアウト子の様に作成しています」成程、成程そうすればコールのパターが覚えられるなぁ。お～そうすればカンニングペーパーの様に使用出来て、ズーット紙に頼りっぱなしのリーディングコールから徐々にメモリーコールやモジュールコール、サイトコールへ移行の足掛かりが見えるのか。と今回も、今後是非実践していこうと思う事の多かった講習会でした。

最後に講師の皆さま、その他実行委員会を初めとする関係者の皆さま有難うございました。

第54回東北SD講習会に参加して

ＳＤＣサーモンドリーム　池乗　育代

Ｂ･ＭＳの定義に沿って復習しスクエアダンスの踊り込み,楽しさを広げます」を選択し２日間受講しました。

私がスクエアダンスを始めたのは９年前のことですが、所属しているクラブの例会が月１回なので、ビギナーの頃は先輩たちがスイスイＭＳを踊っているのを見て、自分は何年例会に通えば踊れるようになるのかと不安になったものです。初めてのDoSaDoパーティーに参加した時、優しい先輩たちに助けられて踊った時は感激でした。クラブの小柳会長から、「踊り込みの大切さ、いろいろな人のコールを聞くのも大事」と聞いており研修会や講習会はなるべく参加するように心がけてきました。今回の講習会は２日間のスケジュールに少し迷ったのですが、ホテルを予約して参加を決めました。

講師の佐々木傳さんのコールで１日目は３セット、２日目は４セットで踊り込み、途中皆さんが納得するまで同じステップを何度も繰り返しコールして頂けたので,とても勉強になりました。休憩タイムでは先輩とおしゃべりしたり、次のチップのパートナーの予約をしたりと、いろんな方に踊っていただき楽しかったです。

２日間の講習会はスクエアダンスの楽しさを実感して、とても有意義な時間であり、参加して良かったと思います。有難うございました。

６月末からは更にスキルアップしてプラスを勉強します。これからも自分磨きがどこまで続けられるか挑戦です。

普及サポーター育成講座を盛岡キャラホールで開催しました

平成31年4月21日(日)盛岡市内の盛岡キャラホールにおいて講師にS協本部地域普及小委員会　委員長　辻田　満氏をお迎えし、東北統括支部主催の「普及サポーター育成講座」が開催されました。

参加者は東北各地から56名が参加し、熱心に午前は講義、午後は体験による実技研修を学びました。午前の講義では体験教室事例紹介、そしてTAIKENプログラムを使った指導方法について、午後はSD未体験者のモデルダンサーを使って、コール未経験の参加者がワークショップを行い、最後にはTAIKENプログラムの音源（CDのコーラーのコール）で未体験者が楽しく踊っていました。共通コール（7動作）での実技研修でしたが、終了後、未体験者に感想をお聞きしたところ、楽しかったと言っていました。

挨拶する辻田委員長

今回参加いただいた地元の皆さま

意見交換する参加者

挨拶をする辻田委員長

普及サポーター育成講座を受講して

秋田コールツフートスクエアーズ　小田内　マサ子

４月21日（日）S協東北統括支部主催「普及サポーター育成講座」をクラブ員４名と一緒に受講しました。我クラブでは例年のように地元魁新聞、朝日、毎日、読売の各新聞とミニコミ誌に無料体験講習の記事掲載依頼をし、例会場地域に折込チラシを1,000枚入れましたが、記事の掲載があったのは魁新聞とミニコミ誌“あおば”のみでした。そして誰からの連絡もなく、受講生は一人も来ませんでした。私も会員もとてもショックでした。まずは体験講習に如何にして人を呼び込むかが、会員全体の課題になりました。藁をも掴む思いで会員に「普及サポーター育成講座」の受講を呼びかけました。クラブをより良くするためだから、参加者全員にクラブから旅費の半額を補助することにしました。

私自身は昨年の体験講習からＴＡＩＫＥＮプログラムを利用し、プリントを作成して指導をしています。音源は他のコーラーはどのように指導しているのかを参考にしました。初めて体験講習をする新米コーラーには参考になる良い資料だと思いましたが、一切日本語が入っていない音源ＣＤのコールを利用するのはハードルが高すぎると思いました。又、皆が聞いたことがあるポピュラーな曲がいいのではないかと思いました。今回の講習では座学で辻田満氏の講義の後に実技が有りましたが、急に振られてマイクを持った方は大変だったと思います。実際に行うときは新米コーラーも、普及サポーターもマイクを持つ人は初めて「始めてのＴＡＩＫＥＮプログラム」を大きな声で朗読し、クラブ員にエンジェルダンサーをお願いして、よく練習してから行うべきだと思いました。各クラブで普及サポータを養成する時は、まずはクラブコーラーが講習したことの復習をすることから取組んで貰うのがいいのではないかと思いました。

秋田県連では５月26日の「ＤＯＳＡＤＯパーティー」の中の１時間を無料体験講習会に充てようと計画中ですし、我クラブも今年は７月に再度無料体験講習会を計画中です。今回受講した会員たちがサポーターとして活躍してくれると嬉しいと思います。

人を集める方法として辻田講師の越谷スクエアダンスクラブで「ナイス・フレンド紹介シート」が参考になりました。

最後に埼玉からわざわざお出でくださった辻田講師と体験受講生を集め会場を提供してくださった盛岡キャラメイツＳＤＣ佐々木傳岩手県支部長、水間統括支部長にお礼申し上げます。

普及サポーター育成講座に参加して

盛岡キャラメイツＳＤＣ　木村　洋子

育成講座が盛岡市で開かれ、私は初めてのことで、どのような内容の講座なのか不安と期待の中で参加しました。

講師はＳ協地域普及小委員会委員長の辻田満氏で、会場の盛岡キャラホールには東北各県より56名の受講者が集いました。始めにＳ協の新しい普及方策として体験者10万人運動と普及サポーター育成の必要性が説明され、講師の所属する越谷SDC体験教室の事例紹介がありました。午後からの体験研修ではＳＤ未経験者８名でモデルセットを作り、コール未経験者４名の受講者がコールの体験をしました。

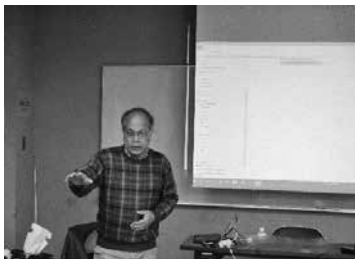
ダンサーもコーラーも全く初めての体験で、緊張しながらも真剣に取り組み頑張りました。その後、ＣＤ音源で男女交互にエンジェルダンサーが加わって踊ると、未経験モデルダンサーの皆さんは笑顔で楽しそうに踊り始めたのが印象的でした。

最後に講師は、初心者講習会と体験会の違いを説明され、①教えすぎない②完璧、を求めない、③楽しさを伝えるの３つを基本にＳＤの楽しさを伝えて欲しいと締めくくりました。

講座に参加して役立つお話が沢山有り、自分にも出来そうな気が湧いて来てとても良い講座でした。辻田講師、東北のスタッフの皆さまが有難うございました。

東北スクエアダンス・ラウンドダンス指導者連絡協議会

2018年度第２回ＳＤ･ＲＤ研修会をおこないました。2019年３月17日（日）黒松市民センターにおいてメイプルスクエアダンスクラブの望月　信一氏を講師にスクエアダンスに関するパソコン研修を会員22名の参加によりおこないました。（SQ　View, SD　Couplu, SD　Reader）を午前・午後に分けての研修は望月講師の熱心な講義と説明で活気溢れた研修会となりました。予定時間を延長して説明して頂いた望月講師に感謝いたします。



東北統括支部所属クラブバッチ紹介（第１回）

シュガーメート
スクエアーズ（宮城県）

大河原チェリービーンズSDC
（宮城県）

山形スクエアダンス
愛好会（山形県）

レッドストン
スクエアダンスクラブ（岩手県）

盛岡スクエア
ダンスクラブ（岩手県）

仙台Ｚｉｇ･ＺａｇSDC
（宮城県）

盛岡キャラメイツSDC
（岩手県）

イーハトーブ
スクエアダンスクラブ（岩手県）

シュガープラム
スクエアーズ（宮城県）

青森ゆららスクエアダンス
クラブ（青森県）

スウィートハートSDC
（宮城県）

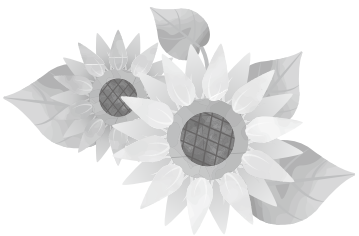
仙台スウィートレディース
SDC（宮城県）

SDCスウィートメモリーズ
（宮城県）

仙台スマイルスクエアーズ
（宮城県）

仙台グリーンリーブズSDC
（宮城県）

福島スクエアダンスクラブ
（福島県）



東北統括支部行事

第40回 東北ラウンド講習会

開催日：令和元年9月21日（土）
会　場：仙台銀行ホール
　　（イズミティ21）
講　師：野村　重一・都志子
　　ご夫妻

第44回 東北スクエアダンス ジャンボリー

開催日：令和元年11月9日（土）
　　～11月10日（日）
会　場：仙台市　秋保温泉
　　ホテルクレセント
ゲスト：松井　和也氏
　　（Ｊ－ＷＡＬＫＥＲＳ）

パーティ情報

仙台グリーンリーブズSDC 第43回 アニバーサリー

開催日
令和元年9月23日
　　（月・祝）
会　場
エルパーク仙台
　ギャラリーホール
ゲスト
東　貢一郎氏

秋田コールツフートスクエアーズ 44周年 アニバーサリー

開催日
令和元年10月27日（日）
会　場
秋田市　イヤタカ
ゲスト
水間　いく子氏

シュガーファミリー アニバーサリー

開催日
令和元年10月6日（日）
会　場
新田東総合運動場
（元気フィールド）
ゲスト
米川　緑次氏

支部共催事業　東北スクエアダンス・ラウンドダンス指導者連絡協議会2019年度第1回SD･RD研修会

開催日：令和元年10月22日（火・祝日予定）
会　場：仙台市内
参加費：コーラー・ダンサー共に500円
プログラム：MS･PLUS

編集者のつぶやき

平成から令和に年号が変わりました。皆さまは何か変わりましたか。わたしは黄金の60歳台から6月に70歳の仲間入りをさせて頂きました。これからは長寿の初歩で遥かな天寿に向かってスクエアダンスと共に進んでいきます。さて、前号で故山咲さんがセットが潰れても「ドンマイ・ドンマイ」と言ってましたが、実は「Don't Mind」から来ていて「気にするな」ではなく「気にしません」が正解のようです。「ドンマイ」は和製英語ですので、外国の方には気をつけて使いましょう。それでは「Never Mind」訳して「気にしないで」